

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)
講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

<S006>

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
奈良の森と水と動物 ※S005と同内容です		全教諭	6H	インターネット講習 (オンデマンド型)
開設期間		講師名(所属・職名等)		
令和3年8月11日～10月11日		松井 淳(奈良教育大学・特任教授) 藤井 智康(奈良教育大学・教授) 辻野 亮(奈良教育大学・教授) 相奈良 律(元帝塚山学院大学・非常勤講師)		
定員				
80人				
【講習の概要】				
奈良県は森林率が77%にのぼる森林県である。森林は林業の生産基盤であると同時に、流域の水資源を涵養し、紀伊半島の生物多様性を担う自然環境の拠点でもある。また、奈良県は瀬戸内海に流入する河川の上流県であり、瀬戸内海の水環境保全にとっても重要な役割を果たす必要がある。本講座では奈良の森と水と動物をめぐる自然環境の最新の現状と課題について解説し、課題を次世代に伝えその解決に資するための環境教育の可能性に言及する。				
【小テーマ①】 奈良の森を測る・護る			1. 5H	(担当講師:松井 淳)
講習形態	講義形式			
講習内容	奈良県には照葉樹林から針葉樹林にわたる多様な森がある。これらの森では近年、野生生物との相互作用や温暖化と関連した更新阻害が顕著である。森を再生するには、まずその動きを知る必要がある。本講義ではユネスコエコパーク核心地域で10数年続けてきた「森を測る」調査の結果からその動きを解説する。また「森林再生をとおした学び」を提案する。			
到達目標・確認指標	紀伊半島における暖温帯林から亜高山帯林の主要構成樹種がわかる。森の現状と再生の方策について批判的に理解する。			
キーワード	生存率、実生、稚樹、ギャップ、採食圧、防鹿柵、シラビソ、ブナ、ツガ、カシ			
【小テーマ②】 奈良から瀬戸内海の水環境を考える			1. 5H	(担当講師:藤井 智康)
講習形態	講義形式			
講習内容	瀬戸内海の上流県に位置する奈良の水環境について理解することは瀬戸内海の水環境を考える上では極めて重要である。本講習では、奈良県内の河川の水環境と瀬戸内海(特に大阪湾)の水環境の現状について解説する。			
到達目標・確認指標	河川及び海域の水環境について正しく理解し、瀬戸内海の水質管理について理解できるようになる。			
キーワード	河川水環境、海域水環境、水質汚濁、閉鎖性海域、瀬戸内海の水質管理			
【小テーマ③】 奈良県と紀伊半島の哺乳類			1. 5H	(担当講師:辻野 亮)
講習形態	講義形式			
講習内容	本講習では、奈良県と紀伊半島に棲む哺乳類の種類を明らかにし、彼らがどのような生き物で、どうやって生きているのかを解説する。特に重要なニホンジカと森林や人とのかかわりについて考察する。			
到達目標・確認指標	奈良の自然や私たちの生活と哺乳類がどのように接しているのかを想像できるようになる。			
キーワード	紀伊半島、哺乳類相、ニホンジカ、生態、分類、順応的管理			
【小テーマ④】 森林野外教育の展開と可能性			1. 5H	(担当講師:相奈良 律)
講習形態	講義形式			
講習内容	自然環境を活用した野外教育プログラムの実践例を紹介する。体験学習法に基づく野外教育プログラムの企画、運営、指導法を学習する。			
到達目標・確認指標	森林を活かした野外教育の理論、実践を理解し、学校教育に活用できるようにする。			
キーワード	野外教育、森林教育、体験学習			
試験方法		各小テーマの最後に10分程度の筆記試験を行う。		
成績評価の方法・基準等		演習課題及び試験の成績で判断する。(演習課題10点＋試験15点×4テーマ＝100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。		